

↓選手宣誓を行う美浜中学校 藤本龍太さん（左）と大西汐莉さん（右）



全国から選ばれた 96 人が力漕 第20回 全国中学校選抜ローイング大会

【大会結果（敬称略）】

	男 子 の 部	女 子 の 部
優 勝	澄川 佳汰（鳥取ジュニアRC）	藤庭 楓菜（琵琶湖漕艇場BRC）
2 位	廣瀬 陽斗（愛知東郷ボートクラブ）	小村 帆乃海（ぎふジュニアボートクラブ）
3 位	藪ノ内 馴哉（美浜中学校）	原 百花（米子漕艇クラブ）
4 位	金谷 さつき（鳥取ジュニアRC）	今井 美緒（鳥取ジュニアRC）
5 位	藤本 龍太（美浜中学校）	今村 彩華（美浜中学校）
6 位	中名主 昇（新富漕艇クラブ）	櫻木 若奈（キッズボートクラブかわせみ）

↓力強く艇を漕ぐ選手たち



3月22日と23日に、第20回全国中学校選抜ローイング大会が県立久々子湖ポートコースで行われました。

本大会には、全国から96人の中学生が出場し、シングルスカルでタイムを競い合いました。

大会の結果は次のとおりです。（関連第2頁）

↓かわらけ投げを行う戸嶋町長（中央）



今年も観光シーズンがやってきた 三方五湖開き

4月5日に、三方五湖開きがレインボーライン山頂公園と美浜町レイクセンターで行われました。

神事には、美浜町長と若狭町副町長が出席し、レインボーライン山頂公園では「かわらけ投げ」が、美浜町レイクセンターでは「黄金の鍵と花束の投湖」が行われ、観光シーズンを迎える美浜・若狭両町の1年の賑わいと安全を祈願しました。



↑電池推進遊覧船「Coot」から黄金の鍵の投湖を行う戸嶋町長（左）

↓戸嶋町長（左）に目録を贈呈する堀社長（右）



町内の小学校新1年生へ キッズ用防犯ブザー贈呈

3月27日に、福井エフエム放送（株）の堀謙社長が町役場に来庁され、キッズ用防犯ブザーの贈呈が行われました。

防犯ブザーは、平成15年から毎年贈呈されており、今年は町内の小学校の新1年生61人に贈られました。

堀社長は「子どもたちの安全安心のため、この防犯ブザーを役立ててもらいたい」と話されていました。

↓認定書を受け取った岡部氏（左から2番目）と太田 enjoy 農楽舎の山路代表（右から2番目）



安定した農業経営を目指して 農業経営改善計画認定書交付式

3月27日に、農業経営改善計画認定書の交付式が町役場で行われました。

同計画は、効率的で安定した農業経営を目指す農業者が作成しているもので、町が認定することによりさまざまな支援措置を受けられます。

今回は、太田 enjoy 農楽舎の計画が新たに認定された他、岡部哲章氏の計画が再認定を受けました。

↓お菓子まきに参加する親子たち



町と社会福祉協議会が共催で企画 はあとぴあまつり

3月16日に、はあとぴあまつりがはあとぴあで行われました。

このイベントは、子どもからお年寄りまで、世代を超えて交流し、健康と福祉を体験してもらうことを目的に企画したもので、約700人が来場しました。

当日は、フレイルチェックや体組成測定の体験、講演会、福祉に関する展示等さまざまな催しが行われました。

↓遊覧船のデッキから久々子湖を眺める来場者たち



北陸新幹線敦賀開業1周年記念開催 レイクフェスタ2025

3月15日と16日に、レイクフェスタ2025が美浜町レイクセンターで行われました。

このイベントは、北陸新幹線敦賀開業1周年を記念して町が開催したもので、約600人が来場者しました。

当日は、遊覧船ガイドが話すキーワード等を答えるクイズラリーやガラボン抽選会が行われ、来場者は、三方五湖を眺めながらイベントを楽しんでいました。



まちウォッチング
atching



幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指して 美浜町こども計画を策定

■ お問い合わせ先
町こども未来課(担当・藤木)
☎32-6713



↑戸嶋町長(左)に答申する河合委員長(右)

町では、令和7年3月に子ども・子育て支援の基本方針となる美浜町こども計画を策定しました。

本計画は、すべての子どもと若者が等しく健やかに成長し、将来的に幸せな生活ができる「こどもまんなか社会」の実現を目指す国のこども大綱を踏まえ、こども・若者の最善の利益を第一に考えながら、ライフステージに応じた切れ目のない支援を進めていくものです。

本計画の策定にあたっては、未就学児や小学生の保護者等を対象としたアンケート調査を実施するとともに、児童クラブを利用しているこども本人へのインタビュー調査や妊婦等を対象とした子育てカフェ、保育士ワーキング等を開催し、子育て当事者のニーズや意見を反映しました。また、学識経験者

町では、本計画に基づき、関係機関や活動団体等と連携して地域における子育て支援の強化を図るとともに、こども・若者が自立した個人として健やかに成長でき、一人ひとりの権利が擁護され、将来にわたって幸福な生活を送ることができ、社会の実現を目指します。

- ◎基本目標
- ①子育てを支援する仕組みづくり
 - ②すこやかに産み育てる環境づくり
 - ③次代を担う人づくり
 - ④若い世代の仕事と子育ての両立を支える社会づくり
 - ⑤こどもが安全に育つ安心なまちづくり
 - ⑥困難な状況を抱える家庭を支えるまちづくり



町の農業の未来に向けて 第3次美浜町農業基本計画を策定

■ お問い合わせ先
町産業政策課(担当・畠中)
☎32-6706



↑戸嶋町長(手前)に答申する北川委員長(右)

町では、令和7年3月に町の農業・農村振興の基本方針となる第3次美浜町農業基本計画を策定しました。

本計画は、町における農業の持続的な発展を目指す、令和2年に策定された「第2次美浜町農業基本計画」の成果とそこから見えた課題を踏まえ、地域の特性や町の農業が抱える課題等を検証して、今後5年間の町の農業施策を定めたものです。

本計画の策定にあたっては、これまで町内農業者や有識者等で構成する計画策定委員会と協議を重ね、3月26日に福井県立大学名誉教授の北川太一委員長から戸嶋町長に答申し、これを受けて町が策定しました。

計画期間は、令和7年度か

町では、本計画を推進する体制づくりとして、計画の進捗確認や見直しを行うための計画推進委員会を設置し、各戦略に対するアクションプランを作成します。また、基本理念に基づく各種施策の実行や、「地域計画」の推進、農地の活用状況の分析・方向性の検討等を通して、町の農業発展と持続可能な農村社会の実現を目指します。

- ◎4つの戦略
- ①地域を支える人創り
 - ②未来に絆く安定した経営体づくり
 - ③みんなが集うむらづくり
 - ④美しい農産物の食・農づくり

ら11年度までの5カ年で、「農業・農村の多面的機能の発揮、豊かな暮らしと農村社会を育むための『生きがいづくり』むらづくり農業」農村振興型農業の実現」と、「農業の持続的な発展に貢献する『強い農業・もうける農業』利益追求・経営型農業」の育成・発展」を基本理念とし、その実現に向けて次の戦略を掲げています。

いちかわ

まさひと

医療功労賞を受賞

長年にわたり、過疎地域等での地域医療に尽力された功績が称えられ、3月14日に市川正人さん(河原市)が医療功労賞を受賞されました。

同日、厚生労働大臣より医療功労賞が授与され、引き続き皇居へ参内し、天皇皇后両陛下に拝謁の栄を賜りました。

市川さんは、東京都内や福井市等で歯科医師として6年間従事された後、平成元年から父親の出身地であり幼少期から慣れ親しんだ、美浜町で現在の市川歯科医院を開業されま



市川 正人氏 (65)
(河原市)

した。開業されてからは、日々の診療以外にも町内の保育園や小学校の歯科検診、高齢者の口腔ケア等にも尽力されてきました。また、町の健康推進協議会等にも参画され、町の福祉向上に貢献していただいています。

受賞について、市川さんは「このような賞をいただけるとうれしい時は、私がもらっているのかと当惑しました。これからも、一人ひとりの患者に向き合って治療を行いながら、今回の受賞を力に地域のために自分は何ができるのか模索していきたいです」と話されていました。

◎大会結果(敬称略)

◎男子舵手付きクオドルプル

【石丸風芽、中村祐陽】

順位	クルー名	2,000m
1位	美方高校	6:45:42
2位	熊本学園大学附属高校	6:47:92
3位	慶応義塾高校	6:48:93

◎男子ダブルスカル

【竹仲琥大、山口 優】

順位	クルー名	2,000m
1位	美方高校	6:58:84
2位	若狭高校	6:59:26
3位	今治北高校	7:07:94

◎女子舵手付きクオドルプル

【林 直美、中世古那奈、江田歩未、満田美央】

順位	クルー名	2,000m
1位	美方高校	7:19:87
2位	今治北高校	7:30:07
3位	本所高校	7:31:57

お問い合わせ先 町教育総務課 ローイングの町美浜推進室(担当・川畑) ☎32-6709

美方高校 男女舵手付きクオドルプルと男子ダブルスカルが優勝

第36回全国高校選抜ローイング大会

優勝報告会を開催

3月28日に、町役場で第36回国高校選抜ローイング大会の優勝報告会が行われました。

同大会は、3月21日から23日にかけて、静岡県浜松市の天竜ボート場で開催され、男女舵手付きクオドルプルが優勝し、男子が3連覇、女子が7連覇を達成、また男子ダブルスカルが3年ぶりに優勝を収めました。

報告会で、男子ダブルスカルに出場した竹仲琥大さんは「これまで鍛えてきた持久力や集中力が決勝のレースに生きて、いいリズムで漕ぐことができました」と話し、山口優さんは「次のインターハイでも優勝し、3冠を目指して頑張りたいです」と話していました。



↑報告に訪れた町在住の美方高校ボート部の選手たち

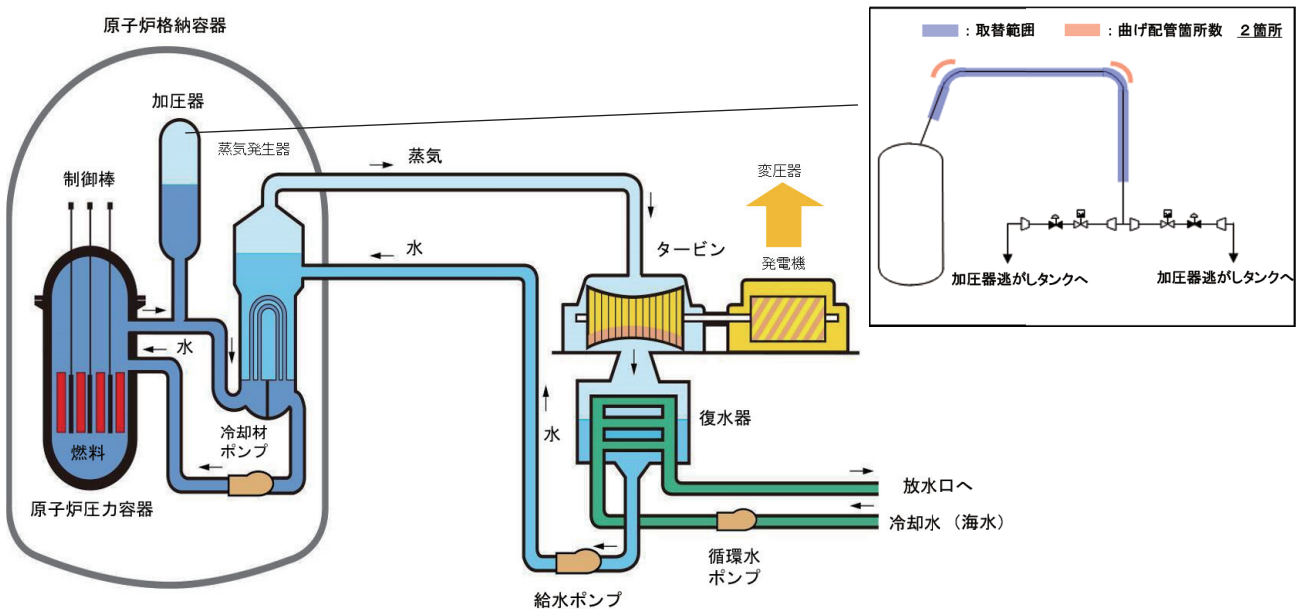
美浜発電所の状況について

○ 1 次系配管（加圧器逃がしライン）取替工事

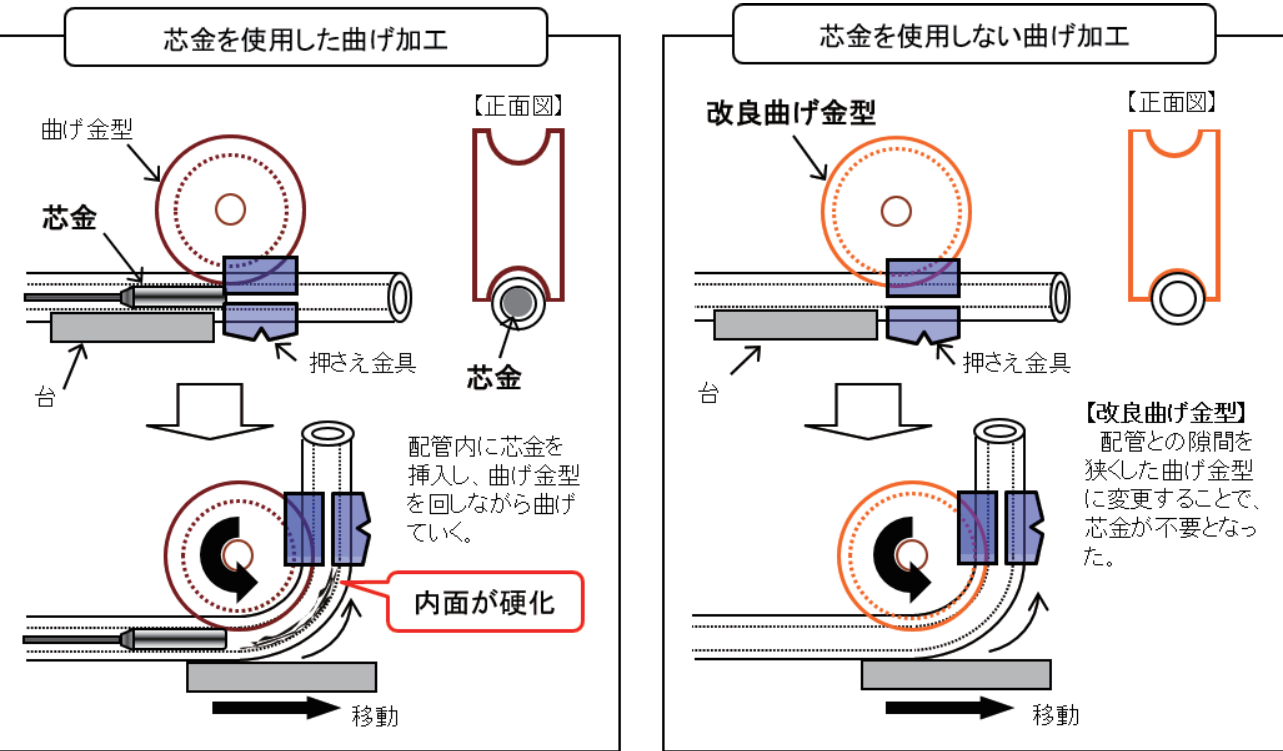
国外の沸騰水型 (BWR) プラントにおいて、芯金 (※) を使用して加工した配管の内面で応力腐食割れが発生した事象を踏まえ、予防的な保全として 1 次冷却材系統につながる配管のうち、曲げ金型で芯金を使用し加工した配管を、改良した曲げ金型で芯金を使用せずに加工した配管等に取り替える。

※ 配管を曲げる加工の際に、局所的な変形を抑制するために内部に差し込む金具

取替範囲概略図



< 曲げ加工方法 >



関西電力(株)の使用済燃料対策ロードマップが杉本福井県知事に容認されました

関西電力(株)は、日本原燃(株)六ヶ所再処理工場が竣工時期を2年延期したことを踏まえ、使用済燃料対策ロードマップ(以下、ロードマップ)の見直しを行いました。町や議会、福井県は令和7年2月にロードマップ見直しに係る報告を受けています。(令和7年広報みはま4月号でお知らせ済み)

このロードマップについて、3月24日に、関西電力(株)の森社長と面談した杉本知事は、「見直した工程表は実効性があると判断したい」と述べ、ロードマップを容認する考えを示しました。

美浜発電所3号機第28回定期検査で実施する工事等について

本年3月に原子炉を停止した美浜3号機では、現在、定期検査が行われています。(令和7年広報みはま4月号でお知らせ済み)

今回の定期検査では、主要工事や設備の保全対策として、「1次系配管(加圧器逃がしライン)取替工事」や「2次系配管の点検」等が実施されます。今月号では、この内容についてお知らせします。

【第28回定期検査の作業工程】

工程	工程			
	R7.3月	R7.4月	R7.5月	R7.6月
① 1次冷却材系統降温	■			
② 原子炉容器開放	■			
③ 燃料取出	■			
④ 1次系ポンプ弁点検	■	■		
⑤ 燃料装荷			■	
⑥ 原子炉容器組立			■	
⑦ 起動試験			■	
⑧ 1次冷却材系統漏えい検査			■	
⑨ 起動前弁点検			■	
⑩ 原子炉起動試験			■	
⑪ 出力上昇試験			■	
1次系配管(加圧器逃がしライン)取替工事		■	■	■
A、B-蒸気発生器伝熱管渦流探傷検査		■		
			■	■